

令和5年度 事業報告

新型コロナウイルスの感染症法の位置付けが、令和5年5月から「季節性インフルエンザ」と同じ2類相当から5類へ移行し、日常生活や経済活動は徐々にコロナ化前へ戻りつつありますが、当センターの運営は会員の高齢化の進行を含め未だ厳しい局面にあります。

令和5年度は、会員の配分金に係る消費税をシルバーが負担することになる「インボイス制度」（適格請求書等保存方式）の導入やフリーランスに位置付けられる会員が法による保護を受け、安心・安全に就業できるための「フリーランス法」（特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律）の制定など、シルバーの運営に大きく影響する制度改正がありました。

「フリーランス法」の運用においては、センターと会員の業務委託について、契約方法の見直し（発注者・会員・センターの三者による包括的契約）が必要となることやセンターと会員に対し、デジタル化へ向けた対応が求められるため、スマートフォン操作講習会の開催など、デジタル化に向けた取組みを始めており、令和6年度においても継続し進めて参ります。

令和5年度の業務実績を見ると、請負の契約金額は、約2億7千5百万円で、前年度より約1千9百万円の減収となりました。また、派遣の契約金額は約5千3百万円で前年度比約510万円の増となり、請負と派遣の合計金額は、約3億2千8百万円で前年度比約1千4百万の減収でありました。

請負の受注件数は1,903件で、高齢化の進行等により外仕事（草刈り・草取り・剪定）については、安全性を考慮し受注できないケースも発生している状況から前年度比102件の減でありました。

全国的に、会員による事故が多発しており、歯止めがかからず深刻化している旨の新聞報道等がされています。

当センターの安全就業につきましては『事故ゼロ』を目指し、当面目標を5件以下に取り組んでまいりましたが、重篤事故の発生はありませんが、今年度8件の事故が発生し、前年度7件から比較すると1件の増でありました。

いずれも、作業前の安全確認不足や作業時における注意不足等が多くを占めており、交通事故も発生しているため、安全委員会と共に注意喚起を行って参りました。また、事務局において仕事を受ける際には、安全性を優先した判断を行い、危険性のある依頼は受けないなど事故を未然に防ぐ対応を行っております。

以下、令和5年度の主な事業を報告します。

主な業務実績

*事業受注件数	請負	1,903件	前年度比	△	102件
	派遣	36件	前年度比	+	2件
*契約金額	請負	274,933千円	前年度比	△	6.5%
	派遣	53,113千円	前年度比	+	10.8%
*会員数(3月31日現在)		570人	前年度比	△	28人

主な事業報告

○ 総会

令和5年度定時総会を5月31日(水)、茅野市民館で開催しました。

出席者 125名、委任状 390名 計 515名

- 1) 令和4年度 事業報告の承認について
- 2) 令和4年度 決算の承認について

監査報告

- 3) 定款の一部改正の承認について

以上が提案され、全て原案のとおり承認されました。

報告事項は、次のとおりです。

- 4) 令和4年度 補正予算の報告について
- 5) 令和5年度 事業計画の報告について
- 6) 令和5年度 収支予算の報告について

○ 理事会

令和5年度は、10回の理事会を開催しました。事業等の実施状況報告、正会員の入会承認、適正就業と会員確保、シルバー派遣事業への対応、会員が集う施設(つどい銀の家)の設置等、センターの運営全般の基本的事項に関することなどを審議、協議しました。

○ 監査会

監事には、令和5年10月に4月から9月までの上半期の事業状況について監査を行っていただきました。令和6年4月には定時総会に提案する令和5年度事業報告、決算について監査を実施していただき、適正な執行であると認めていただきました。また、理事会に出席し、業務執行について意見を述べていただきました。

○ 専門委員会 事業報告

1. 総務委員会

新型コロナウイルス感染症が5類へ移行されたことを背景に、感染拡大に留意しつつ事業の正常化を目指して活動をしてまいりました。通常総会は4年ぶりに制限を設けず開催し125名の出席と、390名の委任状をもって開催できました。

(1) 組織市町村長との懇談会、担当窓口との協議を通じ地域との連携、信頼関係の向上に努め、補助金の確保と共に就業拡大に取り組みました。

- ① 組織市町村担当部課長・係長会議 (10月：事務局長 各担当者)
- ② 組織市町村首長との懇談会 (11月：正副理事長、専務理事、理事 監事)

(2) 地域活動の活性化。

- ① 地域班活動と役割理解のため、地域班長会議を開催しました。(5月 12月)
- ② 地域班構成適正化のため、20名以上の地域班について協議を継続しています。

(3) ポイント制度の導入。

- ① 事業参加状況の見える化を目指し、ポイント制度の導入を決定しました。

(4) 執行役員の就業先訪問を通じ関係強化と新規就業先開拓。

- ① 得意先18拠点を訪問し、信頼関係の向上に務めました。
- ② 商工会議所経由でアンケート調査を行い新規就業先開拓に訪問しました。

(5) 健康づくりイベントの開催。

- ① 筋トレ体験会 (10月19日、2月22日)
- ② 三浦先生の健康講座 (11月16日)
- ③ 健康講座とコグニサイズ (12月12日) ※参加総勢 72名

(6) インボイス制度への対応。

- ① 5年10月より制度が導入され、財源確保のため別掲の積立てをしました。

(7) デジタル化の対応

- ① Smile to Smile の導入、SMSの活用を通じ迅速な情報伝達に務めました。
また、Smile to Smile の登録を委員会、地域班会議を通じ促進しました。

【総務委員会：決算概要】

単位：円

内 容	予算金額	決算金額
(1) 定時総会費用 (議案書印刷費・会場費・記念品等)	755,000	835,096
(2) 地域班長会議費用 (会場費・通知配布費用等：2回開催)	343,000	229,000
(3) 合同地域班会議 (会場費等)	20,000	0
(4) 講習会費用 (健康・安全講習、講師・記念品等)	170,000	33,040
(5) デジタル対応費用 (スマートフォン講習会費用)	90,000	130,020
計	1,378,000	1,227,156

2. 就業委員会

(1) 新規会員獲得への取組み

目標会員数 630人 ⇒ 3月末会員数 570人 (目標比△60人)

入会説明会参加者数 104人、入会者数 74人 (71.2%)、退会者数 102人

- ・受講者に判り易い説明会テキスト及びプレゼン内容への見直しを行いました。
- ・コーディネーターによる企業訪問活動や役員等による会社訪問 (18社) により、新規顧客 (5社) を獲得することが出来ました。
- ・日常生活支援は、支援先7件、延べ121回実施することが出来ました。
- ・会員獲得に向け年間広報活動や新聞広告掲載 (3月) を行いました。
- ・会員対象「入会者紹介キャンペーン」を年間2回実施しました。
第1回キャンペーン (紹介者: 0人)、第2回キャンペーン (紹介者: 7人)
- ・富士見高原リゾート契約終了等により、年度末退会者が急増しました。(45人)
- ・新規会員獲得に向け”第1回作品展”を「つどい 銀の家」で開催しました。
来場者 108人、新入会見込み者4人、

(2) 会員資質向上への取組み

各委員会と連携し職群班技能講習会を実施しました。

- ・「庭木剪定技能講習会」… 6月28日・29日・30日 (参加者8人)
- ・「草刈り安全衛生講習会」… 9月11日 (参加者15人、詳細安全委員会)
- ・「お掃除技能講習会」…7月21日 (参加者6人)
- ・「しめ縄飾り講習会」…11月26日原村実施 (参加者7人)、茅野・富士見中止
- ・「福祉送迎運転者講習会」…3月19日 (参加者21人、詳細安全委員会)

(3) 適性就業への取組み

- ・安全就業基準に関する高さ制限見直し検討を行いました。(5m→4mへ)
- ・作業標準の適正化及び作業標準類への落とし込みを行いました。(11箇所終了)
- ・未就業会員に対する定期フォローを行いました。(未就業66人、対策要8人)
- ・配分金標準単価状況調査及び新年度配分金単価見直し制定を行いました。

【就業委員会：決算概要】

単位：円

内 容	予算金額	決算金額
(1) 会員増強への取組み	134,000	84,950
① プレゼン用 レーザーポインター購入費	14,000	15,950
② 会員募集に関する新聞紙掲載費用 (6月・10月・3月)	90,000	55,000
③ 「入会者紹介キャンペーン」報奨ギフトカード	30,000	14,000
(2) 会員資質向上への取組み	100,000	10,790
① 接遇マナー・安全就業研修会 (講師・テキスト費用等) 費用	20,000	0
② 各種技能講習会 (しめ飾り講習会他、講師・テキスト費用) 費用	80,000	10,790
計	234,000	95,740

3. 安全委員会

令和5年度も『事故ゼロ』を目指します。

当 面 目 標 : 事 故 5 件 以 下

- ① 安全委員会を適時に開催し、会員の安全意識高揚と事故防止策等を検討し周知するとともに「安全確認シート」などを活用して事故削減に努めました。
 - ・一部の会員向け就業台帳に「安全確認項目」の追加を始めました。
- ② 7月から10月を「安全就業強化月間」と定め、就業現場のパトロールと会員から安全標語の募集を行い、安全対策等の周知徹底を図りました。
 - ・安全パトロール 7月11日、8月8日、9月12日実施
 - ・県安全パトロール 8月9日実施
- ③ 事故が発生した場合、事故の検証と原因の究明を行い、更に事故防止策を検討し、会報等を通じて会員に知らせました。
 - ・事故5件以下の目標でしたが、8件の事故が発生しました。
 - 内訳は、傷害事故1件、賠償事故5件、交通事故2件となりました。
 - 事故防止策は、『始業時の安全確認』の実施が事故防止につながります。
- ④ 草刈り中の飛び石事故対策として、石飛軽減草刈り刃の斡旋・飛散防止ネット及び石が飛ばない安全回転バリカンの使用推進と、会員を対象とした草刈り講習会を開催しました。
 - ・石飛の少ない草刈り刃の斡旋販売をしました。
 - ・草刈り会員を対象の安全衛生教育講習会を実施し15人が受講し、受講後飛散防止ネットを活用する会員が増えました。
- ⑤ 運転業務会員で対象となる会員に、適性診断・福祉車両講習会を開催しました。また、すべての会員を対象として「運転時認知障害早期発見チェックリスト30」を配布し、セルフチェックを促しました。
 - ・適性診断対象の運転就業会員24人が受講しました。
 - ・福祉車両講習会を3月19日実施し21人が受講しました。
 - ・全会員に「運転時認知障害早期発見チェックリスト30」を配布しました。
- ⑥ 他の専門委員会との共催により、「健康・安全・就業」に関する講演会や、就業別の研修会について検討し開催しました。

【安全委員会：決算概要】

○ 歳 入

○ 歳 出

単位：円

内 容	予算金額	決算金額	内 容	予算金額	決算金額
販売用草刈り刃 収入	157,200	34,100	安全・適正推進大会費用	12,000	4,000
			斡旋販売用草刈り刃購入費	157,200	60,420
			貸出用上下回転バイカン 式草刈り刃購入費	45,200	0
			草刈り会員対象講習会費用	313,800	206,170
			運転就業会員適正診断費用	269,360	231,295
			福祉車両講習会費用	263,120	242,720
計	157,200	34,100	計	1,060,680	744,605

令和5年度 茅野広域シルバー人材センター 安全・適正標語 入選作品

最優秀賞 平出 統一 会員
『安全就業こそが お客様の 信頼・信用を！』

優秀賞 五味 和広 会員
『仕事前 目くばり 気くばり 怠るな』

佳作 金子 治代 会員
『安全は 地味で地道な 積み重ね』

安全委員会賞 岩井 一彦 会員
『あわてず、急がず、余裕を持って』

4. 広報委員会

- (1) 会報「八ヶ岳の風」 第73号を8月に発行しました。
- ① 理事長をはじめ事務局からのお願いやお知らせ、各委員会との連携により活動状況や就業上の注意事項などを掲載しました。
 - ② 令和5年度 定時総会の報告や組織市町村長のメッセージを掲載しました。
 - ③ 会報を組織市町村の公共施設等へ配置し、センターのPR活動に努めました。
- (2) かわら版「八ヶ岳山麓だより」第31号を令和5年4月と第32号を令和6年4月に発行しました。
- ① 理事長の年頭の挨拶、組織市町村長との懇談会報告、その他の活動報告やお知らせを掲載し周知を行いました。
 - ② 広報委員が会員の就業先を訪問し、就業状況の取材や就業先からの言葉等の紹介を行いました。
- (3) 「全国普及啓発促進月間（10月）」に合わせ、新聞広告と組織市町村広報誌にシルバー人材センターの事業案内と会員募集記事を掲載し、センターの普及啓発に取り組みました。
- (4) 大型商業施設における啓発活動は、コロナ禍により活動を中止していましたが、本年度から再開し、組織市町村の大型商業施設（4店舗）でシルバー人材センターのPR活動を実施しました。
- (5) 会報「八ヶ岳の風」、かわら版「八ヶ岳山麓だより」の編集に当たっては、委員会と印刷依頼先と十分な意見交換や校正を行い、読みたくなる誌面作りに努めました。

【広報委員会：決算概要】

単位：円

内 容	予算金額	決算金額
(1) 会報「八ヶ岳の風」発刊（年間1回：1,000部）	100,000	128,700
(2) かわら版「八ヶ岳山麓だより」発行 （年間2～3回：800部）	90,000	61,600
計	190,000	190,300